

笠木先生と二年の生徒さんたちの「庭手入れチーム」へ

今日は、昨日の天気予報では、雨となり、草取り作業ができるか心配していましたが、予定通り、笠木先生と7名の生徒さん（人数誤っていたらごめんなさい）が自宅にきました。私も80歳へ超えて、この頃は、足腰も弱まり、庭の草取りも気合を入れて、作業していますが、若い時のようにはいきません。昨年秋にも支援学校の先生たちと生徒さんたちの「戸ヶ崎チーム」に庭の手入れをしていただきました。この時の庭の手入れがすばらしく、ジャングルの様な庭が一変したことを今も鮮明に脳裏に浮かんで忘れられません。このような仕事ぶりに大感謝しています。このようなことがあり、そして、今年も支援学校で庭の手入れをしてくれるとの募集のお知らせが自宅の郵便受けに投函されていました。これは、天の助けと思い、応募しました。

それで、今日、笠木先生と7名の生徒さんチームが来てくれました。草取り作業は一時間程で終了しました。私の庭は西側に位置しており、お日様は半日しかあたらないため、シダやドクダミが庭一杯にはえています。私か何とか草取りをしなければと悩んでいたところだったので、大きなストレスを皆様に解消していただき、心より大感謝しています。庭は、除草されて、大満足の美しさを取り戻すことができました。本当にありがとうございました。

支援学校の先生方のご配慮もあり、このような実習をとり入れていただき、私たちにとっては大変ありがたいことです（心では厚かましいこととっていますが）。これらのチームの作業風景を見ると、先生の統率のもと、汚れ作業にもかかわらず、生徒さんたちはもくもくと作業を行っていることに深く肝銘を受けています。女の生徒さんも男性に負けずと力仕事をこなしていることにも、男女平等の精神が育まれてきているなと感じました。生徒さんたちは、身体に少々のお悩みを持っている人たちと思われますか、拝見しているとどの生徒さんも、一生懸命、将来の夢に向かって、先生の教えを受け取ろうとしている。今回、私が感じたことの一番は、偏見を皆無にし、応援していきたいと思えます。何もお礼ができず、私の思いについて、感謝の気持ちとして、一筆、文章にしたためました。一読ください。 今後もよろしくお願いいたします。

2025年5月22日（木曜）

日向山地区